TOPICS ～in 海外～

2017.6.29　外二－30

国際部　内線　3717　3721

011-233-1198

瀋陽駐在員事務所

中国「高考」

受験生を乗せたバスを見送る家族や住民たち
（出所：CHINADAILY）

毎年 6 月 7、8、9 日に、中国各地で日本の大学入試センター試験にあたる全国統一試験、通称「高考」（ガオ・カオ）が行われます。中国では良い大学を卒業するのが成功への第一歩とされ、今年の受験者数は中国全土で 940 万人、受験はまさに「人生を掛けた戦い」となります。

中国の大学は 9 月入学のため毎年 6 月に試験が行われ、二次試験はなく「高考」の合計得点一回勝負となります。また、志望校や専攻は中国全土自由に選択が可能ですが、地域外戸籍の受験生は域内戸籍の受験生に比べ合格基準点が高くなり、また、浪人すると同じ大学・専攻でも合格基準点が現役生よりも高くなるなど、受験生のプレッシャーも高まります。この時期は、社会の関心、親の熱中度は凄まじく、街中に何とも言えぬ緊張感が漂い、パトカーが会場まで受験生を先導するなど、社会をあげて「高考」受験生を応援します。

こうした過酷な受験戦争は小中高生にも影響し、学校現場ではテストの点数と進学率を重視する傾向が強まり、高校では「高考」の高得点だけを追求しているとの批判もあります。一方で、急速な経済発展による所得の増加に伴い「高考」受験が成功への唯一の道ではないと考える家庭も増え、高考を受けずに海外留学だけを目指す学生も増える傾向にあります。教育の歪みは中国政府も問題視していますが、「高考」の 50 年あまりの歴史と学歴を重視する社会全体の意識の下では、制度の改革は容易ではありません。

張 璐

ユジノサハリンスク駐在員事務所

【昭和の大横綱の生誕地・サハリン】

王子製紙敷香工場跡

6 月 12 日(月)はロシアの祝日「ロシアの日」でした。連休を利用してサハリン州中部へ小旅行して参りました。樺太時代の敷香(しすか)町、現在は北見市の友好都市でもありますポロナイスク市です。

サハリンに 7 箇所存在すると言われる旧王子製紙工場跡、今は廃墟となっているものの 70 年以上前の日本の時代に思いを馳せていると、何とも言い表せない感慨を覚えます。

当地は昭和の大横綱**大鵬**、納谷幸喜(なやこうき)さん生誕の地です。戦後、樺太から引き揚げ、北海道で育ち、「巨人・大鵬・卵焼き」という流行語にまでなった昭和の大ヒーローです。亡くなった翌年の 2014 年 8 月、生家のあった場所に銅像が立ちました。銅像設置はサハリンの方が 10 年間提唱してきたもので、除幕式の際、ポロナイスク市長は「日ロ両国の英雄」と讃えたそうです。晩年、故郷への思いを募らせながらもかなわなかった夢、初の里帰りが日ロ双方の関係者の尽力で実現したとされています。

大鵬像

大鵬像は、敷香の思い出話に良く出てきたとされる海を見つめています。その目線を辿り海辺に立つと、日本への道標のような流木が並んでいました。

達田　暢

TOPICS ～in 海外～

国際部　内線　3717　3721
011-233-1198

ウラジオストク駐在員事務所

ウラジオストクの市場

ロシアには「ルィナク」あるいは「ヤールマルカ」と呼ばれる青空市場が、沿岸地方には 52 か所、ウラジオストク市内にも 14 か所あります。冬場以外は、地元産の野菜や魚などが、一般のスーパーと比べ低価格で購入できることもあり、新鮮な食材を求める人々で賑わっています。

金曜日と土曜日限定で行われる、ウラジオストク市の最大の青空市場である「中央市場」には、沿海地方の中小の食品加工業者や農家など、約 300 点が出展し、農畜産物や魚だけではなく、ハチミツやパン、ケーキ、漬物、乳製品など様々な食品が販売されています。特にハチミツはロシア国内での消費も多く、花の品種の数だけといってもいいほどのたくさんの種類があることもあって、購入する方は色々なハチミツを試食し自分にあった味を見つけることも楽しみの一つとなっています。

また、ロシアには食品の市場だけではなく、国内最大の中古車市場である「ゼリョーヌイ・ウゴール」や、壁紙やドア、バスタブ、鏡、といった 1 つの建築資材に特化した専門店が多数出展する市場などもあります。これらは、ロシアの実生活が体感できる、観光スポットにもなっておりますので、ロシアにお越しの際には、是非立ち寄ってみてはいかがでしょうか。

ユルキナ・ヴィオレッタ

北陸銀行バンコク駐在員事務所

タイティー味のソフトクリーム大流行

今回はバンコクで大流行しているタイティー味のソフトクリームについて紹介します。

タイティーとは、タイで飲まれているミルク入り紅茶の事です。砂糖もたっぷり入っており、とても甘いのが特徴です。タイティーにも様々なブランドがありますが、今般ソフトクリームを新商品で開発しブームを引き起こした会社は、タイティーでタイ国内シェア№１の「Cha Tra Mue」社（「№１のタイティー」という意味）です。

ソフトクリームの値段は 45 バーツ（約 140 円）と他のソフトクリームと同程度の価格で、バンコクやチェンマイのショッピングセンターを中心に 8 店舗で販売されています。当事務所のタイ人スタッフによると「タイティーというと Cha Tra Mue 社を連想します。タイ人はソフトクリームが好物ですが、これまでタイティー味のソフトクリームはあまり耳にしませんでした。今回、有名なタイティーのブランドから出た新商品ということで、ネットで一気に人気になりました。」とのことです。

もしもタイに来る機会がある方は一度試してみてはいかがでしょうか。

吉田　雄司

TOPICS ～in 海外～

2017.6.29　外二－30

国際部　内線　3717　3721

011-233-1198

北海道 ASEAN 事務所（シンガポール）

シンガポールに JR が進出

　シンガポールには昨年の 12 月にオープンした JR 東日本が運営するカフェがあり、まだ半年ですが、お昼時はほぼ満席で賑わいを見せています。この JR カフェでは毎月日本の都道府県のどこかと連携して地域のフェアを行っており、６月は北海道フェアが開催されています。

JR カフェ外観

北海道フェア特別メニュー
北海道あずき
クリームクロワッサン

　北海道の特産品である小豆を使った特別メニュー等も用意され、毎週土曜日にはイベントが開催されている他、すでに北海道旅行に行ったことがある人たちによるスクラップブックの作成や、Skype を用いて北海道の各地とのトークイベントが行われました。当事務所も富良野・旭川地区とのトークイベントやブロガーを招いての北海道旅行に関するトークセッションを予定しています。カフェには物販コーナーも併設され、新幹線グッズやイベント毎に各地の商品が販売されています。

　ここでは、外国人に人気の JR の周遊券買うことができたり、JTB の窓口もあって、その場で旅行の予約を取る事も出来るので、日本への旅行を考えるにはとても便利な場所です。

おすすめの料理もありますので、シンガポール旅行の際にちょっと寄り道してみてはいかがでしょうか？

佐伯　亜耶